

### 1 前提

該当する地域	県下全域 平坦地
設定した経営規模	アムスメロン12a、ストック12a、初夏ブロッコリー80a、秋冬ブロッコリー180a
自家労働	2.0人
その他	

### 2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
各年次		△◎-----□□□□											

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、∩トンネル、——栽培期間、□収穫

### 3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A)×R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B)÷(C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A)-(D)×(E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (f)×(G)×利率
作業場	木造・瓦	50 m <sup>2</sup>	3,150,000	4	133,099	133,099	15	8,873	8	62,113	100	2,485
ビニールハウス	6m×30m	7.0 棟	6,184,080	50	3,092,040	3,092,040	14	220,860	7	1,546,020	100	61,841
動力噴霧機	可搬式6ps	1 台	189,000	4	7,986	7,986	7	1,141	4	3,423	100	137
灌水装置	2.2ps	1 台	185,850	30	55,755	55,755	7	7,965	4	23,895	100	956
管理機	6ps	1 台	207,270	4	8,758	8,758	7	1,251	4	3,753	100	150
軽トラック	660cc	1 台	850,000	4	35,915	35,915	4	8,979	2	17,958	100	718
合計			13,278,440		3,568,898	3,568,898		288,074		1,755,331		70,213

## 4 技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
メロン	アムス	ハウス	2,800kg	畑	12a

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					燃 料 消費量 ( $\frac{L}{10a}$ )
	作業期間 (月/旬~月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a 当たり作業時間			
						機械利 用時間	組 員	延労働 時 間	
土 壌 消 毒	3/上	ソイリーン	30 $\frac{kg}{a}$	トラクタ ロータリ 土壌消毒機	○耕起、整地後処理。	4.0	2	8.0	軽油 18.0
基 肥 施 用	3/中	ハイミン (粒) 苦土石灰 (粒) ミネラル宝素 固形35号 西瓜配合 苦土重焼燐	100kg 100kg 80kg 80kg 40kg 20kg	トラクタ ロータリ	○全面散布し、耕耘。	2.0	2	8.0	軽油 9.0
整地・畦立て	3/中			管理機	○作畦、畦幅2.5m、中高とする。	1.0	2	6.0	ガソリン 1.0
マルチ・トンネル	3/中	クレマト乳剤 灌水チューブ マルチ (古ビニール) トンネル支柱 トンネルビニール	300ml 一式 400m 360本 400m	動力噴霧機	○除草 ○定植1週間に畦の両側に灌水チューブ を設置し、マルチ・トンネル被覆する。	0.5	1 2	1.0 26.0	ガソリン 0.5
定 植	3/下	ダイヤキャップ 実生苗	1000枚 1000本		○植穴を切り、定植し、ダイヤキャップ をかけておく。		2	24.0	
温 度 管 理	3/下~6/下				○活着まではトンネルを密閉し、高温 時はハウス換気を行う。 ○活着後はダイヤキャップを除去する。 トンネルは夜間被覆し、つる配置後は トンネルを除去する。		1	39.0	
灌 水	4/上~5/下			灌水施設	○活着までは株元灌水。 ○着果後15日間くらいは十分灌水し ネット発生前に一時灌水を控える。 ネット発生期はじめに再び灌水を行い ネット完成後から徐々に灌水量を減ら す。		1 1	12.0 8.0	
支 柱 準 備	4/中	支柱 エスター線 誘引ひも (タフロープ)	200本 720m 9本		○エスター線を張り、つり下げの準備。		2	22.0	
摘心・整枝・ 誘引	4/上~5/上				○本葉4枚で摘心し、20~30cmに伸び た頃に揃った子づる2本残す。 ○本葉10枚前後でつり下げ、誘引。 ○着果節位までの側枝は早めに除去。 主づる23~25節で摘心。着果づるは 本葉2枚を残し開花までに摘心。		2	68.0	
交 配	4/下	蜜蜂 (ぶんぶん)	2箱		○交配前から蜜蜂を導入しておく。		1	0.5	
摘果・玉つり	5/中	誘引ひも (タフロープ)			○鶏卵大頃、1つる2果にする。 ○摘果後に玉つりを行う。		2	64.0	
病害虫防除	4/下 5/中 5/下 6/上 6/上	アクトラ粒剤5 ロブテール水和剤 ダコニール1000 DDVP50乳剤 ジマンタイセン水和剤 ダコニール1000 アトマイヤー水和剤	1540g 150g 250ml 250ml 420g 250ml 150g	人力 動力噴霧機	○ハモグリバエ類。 ○菌核病、つる枯病。 ○つる枯病、べと病。 ○アブラムシ類。 ○つる枯病。 ○つる枯病、べと病。 ○アブラムシ類、タバココナジラミ類。	3.0	2	6.0	ガソリン 3.0

技術体系

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準			10a当たり作業時間			燃 料 消費量 (ℓ/10a)
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間		
病害虫防除	6/中～下	アミスター2070アブル フェス顆粒水和剤 コマト乳剤	250g 60g 250ml		○つる枯病、べと病、うどんこ病 ○アブラムシ類 ○ハダニ類					
収穫・調製・ 出荷	6/下～7/上	ダンボール箱 モール シール テープ	560箱 560組 2800枚 8巻	軽トラック	○交配後5.5日前後を目安とし、ヘタの周囲に離層が発生したのを確認して収穫。	3.0	2	66.0	ガソリン 7.0	
後片付け	7/中						1	22.0		
合 計										
									380.5	

5 経営試算(10a当たり)

区分	科目	金額	説明
粗収益	主産物価額③	1,120,000	生産量① : 2,800 kg 単価② : 400 円/kg
	主産物価額	0	生産量 :
	主産物価額	0	生産量 :
	副産物価額④	0	
	計 (A)	1,120,000	
生産原価	種 苗 費	124,000	
	肥 料 費	35,735	使用資材等は技術体系のとおり
	農 薬 費	62,294	"
	諸 材 料 費	160,576	"
	動力光熱費	6,646	
	農 具 費	11,459	機械負担価額×4%
	建物等修繕費	155,180	建物・構築物負担価額×1%
	賃 料 料 金	0	
	共 済 掛 金	9,090	
	雇 用 労 賃	11,600	
	減価償却費⑤	240,062	別表のとおり
	土地改良費	2,500	
	支払地代⑥	0	
	小計 (B)	819,142	
費	販売費一般		
	出荷資材費	58,296	
	管理費		
	販 売 諸 費	70,504	
	諸税負担金	6,458	農協賦課金、車検料、固定資産税
	事務研修費	1,958	農業新聞購読料、電話代
支払利息⑦	0	借入資本利率2%	
小計 (C)	137,216		
経 営 費 (D)	956,358	注) (D) = (B) + (C)	
家族労働費見積額 ⑧	485,940	農 従 労 働 時 間 : 366.0 生産管理労働時間 7.8 1,300 円/時間	
支払利子・地代算入生産費(E)	1,442,298	主産物単位当たり 515 円/kg 注 (E) = (D) +⑧-④	
自己資本			
流動資本利子⑨	24,045	注) ⑨= ((E)-⑤-⑦) / 2 × 0.04	
利子(F)			
固定資本利子	58,511	利率4%	
自 作 地 地 代 (G)	3,350		
全算入生産費 (H)	1,528,204	生産物単位当たり 546 円/kg 注) (H) = (E) + (F) + (G)	
所 得 (I)	163,642	時間当たり 438 円 注) (I) = (A) - (D)	
所 得 率 (J)	15	注) (J) = (I) ÷ (A) × 100	
農企業利潤 (K)	-408,204	注) (K) =③- (H)	
家族労働報酬 (L)	77,736	時間当たり 208 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)	
農業資本利潤 (M)	-322,298	注) (M) = (I) -⑧	

6 労働の作業別、旬別配分(10a当たり時間)

月・旬 作業名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			計					
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下						
土壌消毒							8.0																																	8.0		
基肥施用								8.0																																8.0		
整地・畦立て								6.0																																6.0		
マルチ・トンネル								27.0																																27.0		
定植									24.0																															24.0		
温度管理										2.0	4.0	5.0	8.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	2.0	2.0																						39.0
灌水											8.0	2.0	5.0	2.0	2.0	1.0																									20.0	
支柱準備												22.0																												22.0		
摘心・整枝・誘引											4.0	24.0	24.0	16.0																												68.0
交配													0.5																												0.5	
摘果・玉つり															64.0																									64.0		
病虫害防除												1.0		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0																						6.0		
収穫・調製・出荷																	24.0	42.0																						66.0		
後片付け																				22.0																				22.0		
																																								0.0		
																																								0.0		
																																								0.0		
																																								0.0		
																																								0.0		
																																								0.0		
																																								0.0		
																																								0.0		
計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	41.0	26.0	16.0	53.0	38.5	22.0	71.0	6.0	5.0	3.0	27.0	42.0	22.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	380.5		

生産管理労働時間

( 7.8 )